

## 活動報告——平成二十九年年度

◇平成二十九年四月二十二日(土)に第三十六回大会を開催した。大会終了後総会を開き、平成二十八年度の会務、会計報告を行った。

◇同日付で会誌『お茶の水女子大学中国文学会報』第三十六号を発行した。

### ——平成二十九年年度例会記録——

第一回例会(大会) 四月二十二日

・談話機能から見る中国語における文末助詞「嗎」と「呢」の比較

伊藤さとみ

・現代文学におけるタクシ―運転手の表象について

宮尾 正樹

第二回例会 七月一日

・六朝文学における「山」——遊仙詩をめぐって——

董 子華

・「V」得「NP・VP」文における「得」の後ろの統語構造について

・沈従文と「文学啓蒙」  
黄 唯

第三回例会 九月一日

・顔茂猷著『虻吉録』に対する中江藤樹の「借用」について——説話同士の比較検討を中心に——  
董 航

・漱石文学における「縹緲」——『虞美人草』の「縹緲のあなた」について——  
胡 穎芝

第四回例会 十二月二日

・物語における語りの技法——「等待」・「少年池上」を例として——  
迫田 博子

・現代汉语動詞的隠現  
田 禾

・可能表現のメカニズム——「能」と「会」を中心に——  
安本 真弓

卒業論文・修士論文題目

平成二十九年度三月卒業(六名)

杉本 美泉 徐葆光『奉使琉球詩』『舶中集』における海の詩の分析

岩見 梨香子 『冥報記』と『今昔物語集』震旦篇からみる日中の説話比較

富田 明日香 首里城から見る中国―紫禁城・大阪城との比較をもとに―

百瀬 日南 現代中国語副詞“都”の中国語学習者の学習状況と教育法案

安田 佳代 中国古典詩における鳥―『玉台新詠』を中心に―

張 莉佳 邦画の中国語字幕からみる翻訳的策略『名探偵コナン』を例に

平成二十九年度三月修了(四名)

渡辺 紀奴代 日本語の受身表現「れる・られる」に対応する中国語訳の考察

蘇 茗妍 介詞“对”の話題機能について

姚 媛 白先勇の作品における「漂泊感」について

姚 星煜 李煜詞に見られる「愁」